

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり14.31人の報告があり、注意報レベル(定点当たり10.0人)を上回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は34件の報告があり、急増しています。

県内では、12月5日、県内全域に「インフルエンザ注意報」が発令されました。

手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。(次ページ参照)

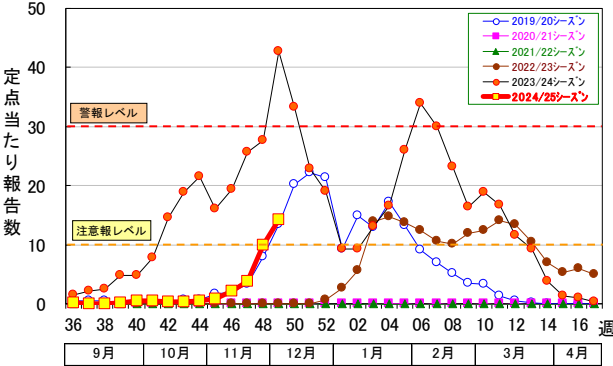
2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり6.00人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.69人の報告があり、増加傾向です。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策に取り組みましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	515	14.31	11.22	↗	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.37	
	新型コロナ(COVID-19)	61	1.69	↗	↗		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	5	0.22	0.09		眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	咽頭結膜熱	7	0.30	1.57			流行性角結膜炎	8	1.00	0.60	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	1.41	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	95	4.13	4.97	→		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	8	0.35	0.18			マイコプラズマ肺炎	36	6.00	0.03	↗
	手足口病	14	0.61	1.11			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	4	0.17	0.24							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇐ ⇓ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

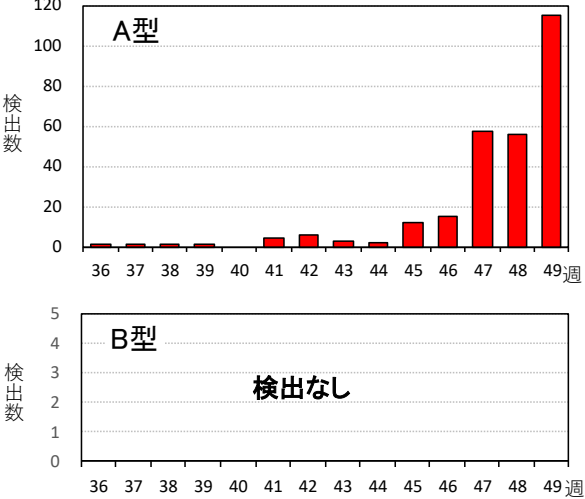
類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	97	10歳代・推定感染地域: 国外、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	28	30歳代・O157
4	レジオネラ症	1	23	50歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	10歳未満
5	水痘(入院例に限る)	1	3	20歳代
5	梅毒	1	155	40歳代
5	百日咳	2	34	10歳未満、40歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ (C O V I D - 1 9)	新 型 コ ロ ナ 感 染 症	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎	(感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ ィ ル ス))
報告数	広島市	第45週	28	24	4	5	35	65	2	22	-	6	-	2	-	-	1	-	50	-	-
		第46週	80	35	6	7	42	114	5	22	-	3	4	1	-	11	-	-	58	-	-
		第47週	138	21	3	9	42	78	11	23	1	2	4	1	-	7	-	1	47	-	-
		第48週	356	47	9	6	41	102	5	10	2	5	4	-	-	7	-	-	29	-	-
		第49週	515	61	5	7	42	95	8	14	1	4	-	1	1	8	-	-	36	-	-
定点 当 た り	広島市	第45週	0.78	0.67	0.17	0.22	1.52	2.83	0.09	0.96	-	0.26	-	0.09	-	0.75	0.17	-	8.33	-	-
		第46週	2.22	0.97	0.26	0.30	1.83	4.96	0.22	0.96	-	0.13	0.17	0.04	-	1.38	-	-	9.67	-	-
		第47週	3.83	0.58	0.13	0.39	1.83	3.39	0.48	1.00	0.04	0.09	0.17	0.04	-	0.88	-	0.17	7.83	-	-
		第48週	9.89	1.31	0.39	0.26	1.78	4.43	0.22	0.43	0.09	0.22	0.17	-	-	0.88	-	-	4.83	-	-
		第49週	14.31	1.69	0.22	0.30	1.83	4.13	0.35	0.61	0.04	0.17	-	0.04	0.13	1.00	-	-	6.00	-	-
	全国	第47週	2.37	1.81	0.23	0.28	2.04	3.08	0.23	3.37	0.51	0.24	0.08	0.03	0.02	0.53	0.02	0.03	2.57	-	0.01
		第48週	4.86	2.42	0.27	0.34	2.58	3.85	0.28	2.75	0.89	0.28	0.06	0.03	0.02	0.63	0.03	0.03	2.27	0.01	0.01

【参考】広島市における今シーズン※のインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザ迅速診断キット検査結果
(第49週現在)



※今シーズン(2024/25シーズン)の期間は
2024年第36週～2025年第35週です。

市内2か所の協力医療機関における迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの検査結果は、A型陽性274人、B型陽性0人と、全てA型でした。(第49週現在)
また、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注)では、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型が4件検出されています。(第49週現在速報値)
(注) 感染症発生動向調査における病原体定点等において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

広島市のインフルエンザウイルス検出状況については、こちらをご覧ください。↓

・インフルエンザウイルス検出状況(2000/01シーズン以降)(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease-byogen/101.html>

全国のインフルエンザウイルス検出状況については、こちらをご覧ください。↓

・インフルエンザウイルス分離・検出速報(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>



【参考】インフルエンザを予防するための注意点

- ◆ 外出後は、流水・石けんによる手洗いを行う。
- ◆ 咳やくしゃみ等の症状のある時はマスクの着用など咳エチケットを心がける。
- ◆ 室内では換気、適度な湿度(50～60%)を保つ。
- ◆ 人混みへの不必要な外出は控え、やむを得ず人混みに出る時はマスクを着用する。
- ◆ インフルエンザワクチンの接種を受ける。ワクチン接種後、効果が出るまで2週間程度かかります。
- ◆ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診する。
- ◆ 普段と異なる症状がある場合には、外出、出勤、登校・登園を控える。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp